

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン) 地域における家庭教育支援基盤構築事業の取組事例

「元氣わくやふれあい町づくり事業」～家庭教育支援～（宮城県涌谷町）

取組の概要や経緯

平成22年9月に元氣わくやふれあい町づくりサポートセンターを立ち上げ、学校支援本部事業のほか、家庭教育支援事業も同時に開始した。涌谷町家庭教育支援チームはその当時すでに活躍していた2つの子育て支援サークルにご協力いただき活動を開始し、現在は2つの子育てサークルのメンバーのほかに、子育て経験者や子育て支援サポーターなど、興味関心のある地域の方にもご協力いただき活動を継続している。

内容

涌谷町地域学校協働活動推進員を中心に、『学ぶ土台づくり』親の学ぶ研修会において、涌谷町立さくらんぼこども園に出向き、司会やファシリテーターを担いながら、保護者との交流を図った。
また、チーム独自の活動を模索するため「親子スポーツリトミック講座」を通して、直に保護者とふれあう機会を創出し、関係の構築を図った。

ポイント

町内幼稚園等に出向き、保護者の皆さんと一緒に子育ての悩みや日ごろの思いを共有し、さまざまな「気づき」に出会えるよう支援する。
チーム独自の活動を立ち上げるため、保護者との関係を構築する。

成果

令和7年度は、宮城県北部教育事務所主催事業『学ぶ土台づくり』親の学び研修会が涌谷町立さくらんぼこども園において開催され、涌谷町家庭教育支援チーム員が主となり事業を展開し、涌谷町家庭教育支援チームの存在をアピールした。



今後の方向性

- ・涌谷町家庭教育支援チームとして、幼稚園等に出向き独自の活動を実施する。
- ・チーム員のスキルアップと地域の人材の育成、発掘に努め、家庭教育の推進を図る。
- ・『できる支援をできるときに、できることから』を合言葉に、保護者に寄り添った活動の推進を図る。